

○参加報道機関（敬称略）

南信州新聞社、信濃毎日新聞社飯田支社、中日新聞飯田支局、毎日新聞社飯田通信部、
読売新聞飯田通信部、㈱飯田ケーブルテレビ、飯田エフエム放送㈱

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

10月第2回定例記者会見にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

台風19号につきまして、長野県内の千曲川流域をはじめ、東日本各地の被災地におかれましては、一日でも早い復興を願っているところです。飯田市では、救援・救助活動、復旧・復興に向けた支援活動を展開してきていますが、今後もできる限りのことをしていきたいと思っております。

さて、11月17日に迫りました三遠南信自動車道の天龍峡IC～龍江ICの開通に合わせて、名勝天龍峡ガイダンス施設を11月10日にプレオープンができるよう前倒しで整備してまいりました。本格的なオープンは来春を予定しています。そのなかで、当該施設の愛称が決定しました。本日は、愛称とプレオープンイベントの開催について発表します。

また、教育委員会から「全国学力・学習状況調査」の学習状況に関する結果分析を発表します。

どうぞよろしく申し上げます。

3 発表事項

（1）名勝天龍峡ガイダンス施設の愛称の決定とプレイベントの開催【産業経済部】

資料に基づき説明

説明者：産業経済部長、産業経済部観光課専門幹、教育委員会文化財担当課長

〈質疑応答〉

毎日新聞社

プレオープン前に報道機関が施設の様子を取材することはできますか。

飯田市

報道機関対象の内覧会を予定していますが、開催日時は現時点で未定です。

読売新聞

プレオープンと本オープン、どのような違いがありますか。

飯田市

プレオープンから施設を利用できますが、外回りの一部を整備中であつたり、展示資料が全て揃っていなかったりという状況です。今後、外構工事や冬の天龍峡に関する展示資料制作が行われ、これらが完了すると本オープンとなります。

読売新聞

無人の施設ですが、休館日が設定されていることについて教えてください。

飯田市

当施設には水道設備がないため、隣接の「天龍峡温泉交流館ご湯づくり」の開館日に合わせています。また、休館日に展示物の調整等を行うようにしています。

飯田市長

隣接のご湯づくりと一体的に利用していただきたいと思っています。

飯田ケーブルテレビ

入場者数の目標について教えてください。

飯田市

目標に明確な数値を定めていませんが、ご湯づくりの利用者数を最低限としたいと思っています。ちなみに、昨年度のご湯づくり利用者数は、約4万2000人です。また、ご湯づくりの利用者に加え、天龍峡大橋の通行者を誘導できるよう宣伝したり、小学校が学習や遠足等に活用できるよう提供したりといったことに取り組んでいきます。

信濃毎日新聞社

天龍峡大橋の開通に合わせて整備してきた施設ですか。

飯田市

その通りです。添架歩廊、遊歩道、ガイドンス施設、この3つを大きなポイントとして天龍峡大橋開通に合わせて整備してきました。

南信州新聞社

ガイドンス施設の管理業務は外部に委託しますか。

飯田市

基本的には市が管理しますが、清掃や展示映像に関するメンテナンスについては外部委託を予定しています。

毎日新聞社

JR 天龍峡駅前に観光案内所がありますが、このガイドンス施設は観光案内施設ではないということよろしいですか。

飯田市

その通りです。名勝天龍峡の魅力を後世へ継承できるよう学習機能を持たせ、人材育成を目的とした施設です。観光案内所ではガイドンス施設への誘導をします。

飯田市長

名勝天龍峡保存管理計画のなかで、名勝を觀賞するための施設の整備や天龍峡に関する学習機能の充実が図られるよう方針が定められています。

中日新聞

小学生らが遠足などで活用する日時は具体的に決まっていますか。

飯田市

現時点では未定で、次年度計画の策定に合わせて決まってくると思われます。遠足のほか、総合的学習の時間と地域のタイアップを進めてまいります。

中日新聞

展示内容のポイントを教えてください。

飯田市

天龍峡のプロジェクションマッピングによる映像と地形の立体模型（天龍峡のジオラマ）の組み合わせ、検索型のタッチパネルなどがあります。映像は、地形や地質、周遊、四季、自然といった4本の番組があり、1本3～4分で編集されています。展示内容は、教育委員会が素案を作成し、名勝天龍峡整備検討委員会に監修していただきました。

(2)「全国学力・学習状況調査」の学習状況に関する結果の分析【教育委員会】

資料に基づき説明

説明者：教育次長、学校教育課長、学校教育課専門幹

〈質疑応答〉

南信州新聞社

ICTの中学校への導入はいつからですか。

飯田市

現在は校区ごとにモデル校を設けて導入していますが、2022年に小・中学校の普通教室への導入が完了するよう随時整備してまいります。電子黒板については、今年度末に4割程が整備でき、2021年までに完備させる予定です。また、タブレットは、まずは教員向けに導入し、児童生徒はその後に導入します。

飯田ケーブルテレビ

ICTの利用頻度が高まったが、児童生徒の学力への影響について教えてください。

飯田市

学力向上への影響は確認できていませんが、楽しく授業を受けていることは明らかです。

中日新聞

ICTの教員側への影響について教えてください。

飯田市

視覚的、聴覚的に表現できる幅が広がり、わかりやすく教えられるようになりました。また、遠隔授業も可能になり、上村小学校と和田小学校と一緒に授業できるようになりました。

中日新聞

「授業で、PC などの ICT をどの程度使用しましたか」という問いに対し「ほぼ毎日」と答えた児童が飯田市では 18.2%と高い数値（長野県 9.0%、全国 10.4%）ですが、どのような ICT がありますか。

飯田市

設問の文中「など」を児童がどのように解釈しているか確認していませんが、電子黒板やタブレットだと思われます。

4 その他

○飯田市長が来年度に任期満了を迎えることについて

信濃毎日新聞社

今月 27 日で任期満了まで一年となりますが、今後の取り組みについて、次期市長選への対応も含めてお聞かせください。

飯田市長

人口減少、少子高齢化といった右肩下がりの時代のなかで、リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の開通といった大きなプロジェクトが同時進行していることもあり、当地域は正念場を迎えており、舵取りの難しさを日々痛感しています。「小さな世界都市」や「田園型学術研究都市」を掲げるリニア将来ビジョンの実現に向けて、この大規模なプロジェクトを軌道に乗せるための努力に全力で取り組んでいきます。そのなかで、次期市長選について見極めていきたいと思えます。

5 閉会

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理したうえで作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)